令和６年・・・・・・11月号

陽迎橋自治会だより

NO. 135

暮らしやすく・輝きを増す陽迎橋地域

イオンスタイルてだこ浦西駅前店

9月27日　グランドオープン

９月２７日（金）、ゆいレールてだこ浦西駅・隣に「イオンスタイルてだこ浦西駅前店」がオープンしました。注目を集める陽迎橋地域・浦西駅周辺の開発が今後さらに進むものと思います。多くの来店客が行列をつくり、大賑わいのグランドオープンとなりました。オープンセレモニーには、松本浦添市長、住友商事今岡ユニット長、てだこ浦西駅周辺土地区画整理組合の又吉理事長、そして地域を代表して陽迎橋自治会長がお招きいただきテープカットを行いました。

10月13日(日)浦西中High 祭で

浦西マルシェ　オープン

地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会（コミュニティ・スクール）づくりが全国ですすめられています。浦西中の取組みのひとつとして、浦西中High 祭で陽迎橋自治会は浦西マルシェをオープンしました。浦西中学生の学年を超えた自主的な「団活動の発表と連動したもう一つの居場所活動として実施したものです。浦西マルシェには、多くの学校関係者や地域の皆さんに参加していただきました。

１０月１３日（日）、悪天候のため２週間遅れの開催となった浦西中学校のHigh 祭（浦西中ハイサイ）今年も学年を超えた自主的な「団活動」で感動的な「運動会」となりました。陽迎橋自治会が運営するマルシェには、子どもの居場所に参加する小学生や地域の皆さん、ボランティア活動をしている沖縄国際大学や琉球大学の学生の皆さんも参加をいただきました。感謝申し上げます。真夏の日差しも和らいだ１０月そして午前中のみの短時間のかき氷販売（Hibh 祭に参加している浦西中学生は利用不可）でしたが、実に２７０杯ものご利用がありました。

・・・明治安田生命は、地域に密着した最も身近な生命保険会社をめざし、地域のみなさまの暮らしや健康をより豊かにするための取組みを全国各地で行う「地元の元気プロジェクト」を展開しています。地域に「つながり」や「ふれあい」、「ささえあい」の機会を創出することで、地域の課題解決に貢献することをめざし・・・その実現に向けて、自治体をはじめ地域の団体との協働が必要不可欠なことから、各種取組みの一助としていただくべく、従業員募金と会社拠出寄付のマッチングによる地元支援「私の地元応援募金」を実施。そして、全国の支社等が選定する自治体や団体に対し、明治安田グループの全従業員が出身地・居住地等のゆかりのある地域の団体等に募金し、会社からの寄付を上乗せしてご支援するものです（明治安田生命「地元の元気プロジェクト」案内より）。沖縄県内でも今年度は２９団体に１０００万円余のご寄付とのことです。厚く感謝申し上げます。

明治安田生命様より

昨年に引き続き　陽迎橋自治会へ

「私の地元応援募金」を頂きました

浦添市てだこ市民大学
まちづくりアカデミー（第2回）で
陽迎橋自治会のまちづくり発表

「まちづくりの実践者から具体的な成功例や課題、工夫などを学び、自分達の地域や状況に応用できる知識を得る。実践者の話を聞いた後、意見交換を行い、多様な視点からまちづくりをとらえることで将来的な活動のモチベーションを高める」等をゴールにしたまちづくりアカデミーが１０月１９日（土）浦添市ハーモニーセンター研修室で行なわれました。浦添市市民大学の受講者も年々減少傾向とのことですが、少ないながらもまちづくりへ熱い思いをもった方々で大変有意義な時間を過ごすことができました。陽迎橋自治会の発表後の質疑・意見交換では、●どのようにしたら人がつながっていくのか？　●とりくみを始めて、つながり広がるターニングポイントは？　●ボランティアを募る上での工夫は？　●ＳＯＳを子どもが発せられる。それを受け止める方々がいる地域がすごい　●資金的な側面を支える企業（近隣のお店など）はありますか？　など、多くの意見・質問がありました。

陽迎橋自治会の発表のあと、セッション２として「特定非営利活動法人シンコペーション」の発表も行われました。